

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヴィストカレッジ金沢駅西口		
○保護者評価実施期間	2025年11月25日		～ 2025年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	74名	(回答者数) 38名
○従業者評価実施期間	2025年11月25日		～ 2025年12月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童のライフスキル獲得に向けた支援	・ライフスキル獲得に向けて、個々に応じた個別療育、調理などの集団療育を行っている。	・引き続き児童と保護者のニーズをくみ取り、その子のライフステージに合った個別療育の提案、集団活動の機会の提供を行っていく。
2	・児童、保護者の満足度の高さ	・個々のニーズだけでなく、児童の興味関心の高い内容(調理・ゲームなど)を活動に取り入れている。	・児童のニーズは移り変わりも早いので、都度ニーズ確認や興味関心の聞き取りをしていければと思う。また同年代の児童同士の関わるきっかけにもつながるため、そこにも生かしていきたい。
3	・生活スペースの清潔さ	・毎朝の清掃、定期的な内部点検の実施。	・待合室の使い方等ルールを作っていく、児童・保護者への周知を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所で取り組んでいる活動(関係機関連携や防災に関する取り組み等)の周知	・施設内掲示による周知が保護者に伝わりきっていない。 ・自力通所を行っている児童もいるため、保護者に取り組み内容が伝わりきっていない。	・施設内掲示の強化だけでなく、LINE等のツールも活用していき保護者に取り組み内容の周知を行っていく。
2	・フォーマルなアセスメントの導入。	・フォーマルなアセスメントを導入するためには、どのアセスメントを導入するかを検討する必要がある。現在、それを検討するよりも来所している児童の支援を優先している。	・将来的な児童のスキルアップのためにフォーマルなアセスメントの導入を前向きに検討していく。 ・同法人ですでにフォーマルアセスメントを導入している事業所の情報を聞き取り参考にしていきたい。
3	・保護者同士がつながる機会の確保。	・保護者会等を企画し開催しているがなかなか纏まった参加人数となっていない。	・事前に保護者が知りたい情報やニーズを聴取し、同じニーズ同士の保護者が参加できる枠組みを設定していく。保護者同士の関わりを増やしていくことで、スタッフだけでなく保護者も巻き込んだ包括的な支援も実施していきたい。